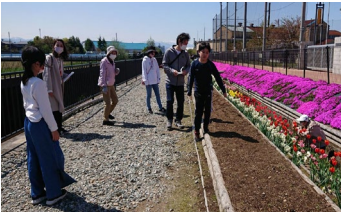


新庄北社会福祉協議会の状況

令和6年4月現在

設立年月

平成22年4月16日

会 長	清水 清三		副会長	山口昭男、辻井義雄、種五順一 齊藤潔雄、鷲塚博史	
事務局 所在地	地区センター内 ・ 公民館内 ・ その他（会長、事務局長宅等） ○をお願いします				
事務局 TEL		事務局 FAX		事務担当	杉森 哲夫
人 口	12,559 人	世帯数	6,020 世帯	高齢化率	26.39 %
主な活動等	1 各町内に福祉役員を設置し、福祉のネットワークづくりで福祉のまちづくり 令和3年4月から各町内に福祉担当役員を設置することができ、令和6年4月からは福祉推進員についても各町内に設置することができました。 ケアネット活動は令和6年4月から1町内増えて全町内21町内のうち9町内で実施することになりました。 2 小地域に密着した「ふれあいいきいきサロン・サークル」の推進 小集団活動で元気を創出し「健康寿命の延伸」につなげるために、現在19サロンが活動し当協議会で遊具等を購入して貸出をしています。 3 各種団体の結束で共生社会の推進 障がいのある子供も地域の一員として参加できる①芝桜を見る会、②123m花畑を見る会、③さつま芋堀に誘って交流し地域共生の輪を広めています。 4 異世代交流活動の推進 次世代を担う児童と各種団体の役員が交流を深めるために、異世代交流野外塾(前年度は呉羽青少年の家で「うどんづくり」を体験)を開催しています。 5 子供育成活動の推進 学校との連携を図り、各種団体と児童(生徒)の交流で体験学習や知識の向上を目指し、花壇づくり(123m花畑)、さつま芋作り、囲碁将棋クラブ活動の支援及び囲碁将棋教室、異世代交流囲碁将棋大会などの開催をしています。 6 広報誌の作成(年3回:A4で2ページ) 新庄北社会福祉協議会で活動したものを掲載し、地区に全戸配付しています。    共生社会の交流会(芝桜を見る会とさつま芋堀り) 異世代交流野外塾				
会長の メッセー ジ	新庄北社会福祉協議会では、平成26年からケアネット活動を開始し、現在21町内のうち9町内が活動することになりましたが、この活動を新庄北校区全体に広めたいと考えています。				